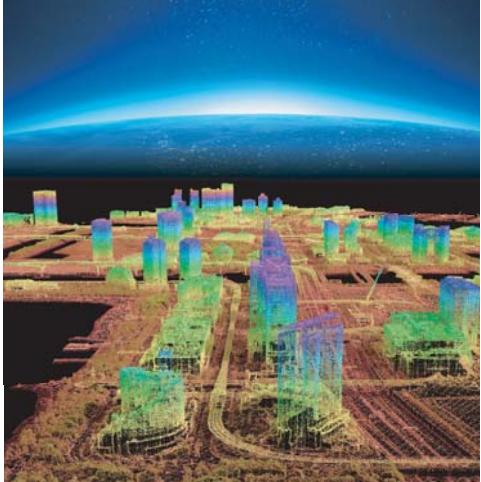


地球をはかり、未来を創る
～人と自然の共生にむけて～



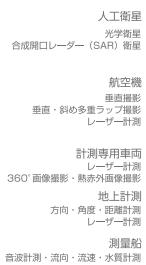
バスコグループは、「地球をはかり、未来を創る ～人と自然の共生に向けて～」を経営ビジョンに掲げ、
人と自然が共生する未来社会の構築に努めています。

バスコの特徴と優位性

3つの優位性で独自の競争力を発揮

Remote Sensing 遠隔の視点

人工衛星・航空機・ドローン・計測車両・船舶などの多彩なプラットホームに最先端の光・レーザー・マイクロ波・熱・音波などのセンサーを搭載して地上の様子を捉えています。



Analysis Technology 分析・解析技術

AIやIoT、GIS、画像処理などを空間情報の分析・解析技術を活用してソリューションの創出に努めています。



Onsite Sensing 近接の視点

災害、環境、森林、道路、上下水道、都市、ダム、河川、港湾、橋梁など社会のあらゆる課題の現場に身を置き、現場の実態を見て、聞いて、触ることによって社会の現状を捉えています。



2つの視点から社会の事象を捉え、
分析・解析した成果で
社会の課題を解決

国土管理・保全

インフラ維持管理

災害・環境対策

行政業務効率化

市場分析・予測

リスク管理・対策

生産性向上

文化財管理

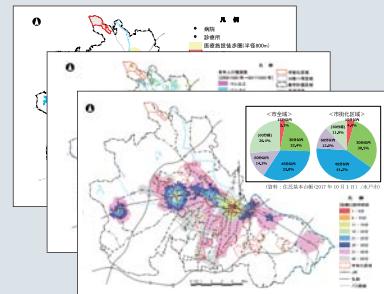
会社ホームページ: <https://www.pasco.co.jp/>

まちづくりの取り組み

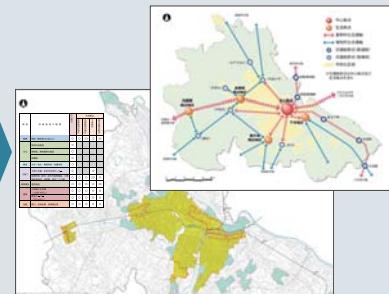
まちをつくる（都市分析、計画策定）

- 安全で安心して暮らし続けられる、持続可能な都市を実現するには、我が国が直面している様々な課題の解決に取り組む事が重要です。
- パスコは、最新の空間情報技術を活用することで、都市ごとの特性や課題を明らかにし、より良いまちの実現に向けたコンサルティングを行っています。

<分析の視点>



<構想・計画の視点>



出典:水戸市立地適正化計画

まちを守る（国土強靭化 防災 × 減災）

- 気候変動に伴う気象災害の激甚化や地震・火山の噴火など、災害に対する潜在的リスクへの対応は自然災害が多い日本の課題です。
- パスコは国民の生活を守り、経済活動を停滞させないために空間情報技術を駆使し防災・減災と緊急時の対応を支援しています。
- ・ 災害による被害を最小限にして、早期に復旧・復興するために、空間情報技術を活用し、地域の特性に合わせた防災コンサルティングを行っています。
- ・ 近年は、3DやVR技術を活用した災害リスクの可視化や、AIを活用した解析にも取り組んでいます。



出典:くらしマップおかや「防災ガイド3D」
Maxar | Source: Airbus, USGS, NGA, NASA, CGIAR, NLS, OS, NIMA, Geodatastyrelsen, GSA, GSI and the GIS User Community | 岡谷市 Powered by Esri

まちの機能を維持する (施設評価・分析、再配置シミュレーション)

私たちが利用していた多様な公共施設が、老朽化や人口減少等の社会変化により機能再編や集約する必要が生じています。このため、公共施設等総合管理計画の改定を踏まえ、都市の状況や将来のまちづくりとの整合を図りつつ、人口動向の分析等により再配置シミュレーションを行い、まちの機能維持を図っていきます。

再配置シミュレーションイメージ

◆定量的評価:

ポートフォリオ分析による
クロス評価

◆定性的評価:

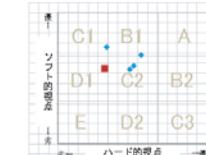
施設所管課による
公共施設の定性的な評価

◆GIS分析:

都市全域・地区での状況、
人口動向などの方向性について分析

定量的評価・定性的評価

<定量的評価>

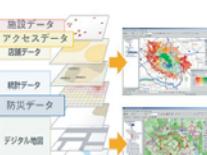


<定性的評価>

- 個別施設計画等により施設所管課の考え方を把握
- ・必要性
 - ・公平性・公共性
 - ・有効性
 - ・機能性・将来性
- 施設管理者

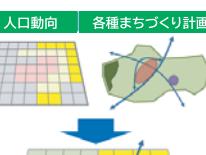
立地状況分析

○GISを用いて分析



将来性分析

○人口データ、上位関連計画を用いて分析



再配置の方向性

順位	1次	2次	3次	4次
A	中	高	低	中
B	高	中	低	中
C	中	低	高	中
D	低	中	中	高

再配置の方向性

立地適正化計画との連携を考慮